

2015~2016 年度

海外研修(in 台湾) 報告書



日 時 : 2016年1月22日(金)~25日(月)

場 所 : 台湾・台北

海外研修のねらい・目的

- ◆ アクター相互の人的なふれあいによって相互理解を深め、豊かな人間性を育てる。
- ◆ 台湾（台北）の歴史的文化に触れるとともに、文化や歴史的遺産に接し、多様な地域特性の違いを認識する。
- ◆ ローターアクトとして、この研修を通じて研修の意味を理解する。
- ◆ 将来にわたり我が国の平和を築く一因となるための心と態度を養う。
- ◆ 台湾（台北）のローターアクトとの親睦を深め交流する。
- ◆ 海外研修の良き思い出をつくる。

スケジュール

1月22日（金）

- 13:00 新千歳空港国際線ターミナル2階 到着ロビー ツアーデスクA サンサポート 北海道ルックJTB受付前 集合
- 15:20 エバー航空 115 便にて台湾桃園国際空港へ出発（機内食あり）
- 21:00 台湾桃園国際空港到着 ➡ 専用車にてホテルまで直行
- 22:00 サントホテル（三徳大飯店）到着・宿泊
【所在地】台北市承德路三段 49 号

1月23日（土）

- 9:00 ホテルにて朝食後、出発
- 9:30 龍山寺…台北で有名なパワースポットのお寺で参拝
- 11:30 鼎泰豊…世界に知られる老舗で小籠包を堪能
- 12:30 思慕昔…台北随一の観光スポットである永康街にある有名なかき氷店で、マンゴーかき氷を堪能

【台湾のローターアクトとの交流】

- 14:00 台北東海 RAC・新竹北区 RAC との交流…MRT 關渡駅 1 番出口集合
- 14:30 淡水町散策
- 16:00 紅毛城…台湾に現存する最古の建築を見学
- 18:00 漁人碼頭からフェリーに乗船
- 18:05 台北東海 RAC 会長・新竹北区 RAC 副会長・2510 地区代表あいさつ
- 18:20 3480 地区 RA 委員長・台北東海 RA 委員長・2510 地区 RA 委員長あいさつ
- 18:35 記念品・おみやげ交換
- 18:50 夕食
- 19:50 ○×ゲーム（台湾と日本・北海道にちなんだ問題が出題）
- 20:20 新竹北区 RAC・2510 地区紹介プレゼンテーション
- 20:50 クルーズ終了・移動
- 22:00 台北東海 RAC・新竹北区 RAC の案内で士林夜市を観光
- 24:00 サントホテル（三徳大飯店）到着・宿泊

1月24日(日)

- 8:30 ホテルにて朝食後、出発
9:30 佳徳糕餅…パイナップルケーキで数々の賞を収める有名店でお土産を購入
10:30 全聯福利中心…台湾のスーパーマーケットを見学
13:00 台北市内で牛肉麵を堪能
15:00 九份観光…「千と千尋の神隠し」のモデルといわれる、刻々と表情を変えるノスタルジックタウンで食べ歩き
18:00 台北 101…世界で2番目に高いビルとして有名な場所で自由行動
19:30 千里香私房菜で夕食…台北最後の夜は「火鍋」食べ放題！
22:30 士林夜市で観光 or 台湾マッサージを体験
24:00 サントスホテル（三徳大飯店）到着・宿泊

1月25日(月)

- 8:20 ホテルにて朝食後、出発 ➡ 専用車にてホテルまで直行
9:00 台湾桃園国際空港到着
11:05 エバー航空 166 便にて新千歳空港へ出発（機内食あり）
15:10 新千歳空港到着
16:00 解散

参加者

ロータリー

国際ロータリー第2510地区	地区 RA 委員長	石山 嘉治	様	(森ロータリークラブ)
	地区 RA 委員	今井 義憲	様	(函館東ロータリークラブ)
	地区 RA 委員	宇戸 啓隆	様	(赤平ロータリークラブ)

ローターアクト

国際ロータリー第2510地区	地区代表	石川 樹	(赤平ローターアクトクラブ)
	地区代表補佐	深貝 友香梨	(札幌幌南ローターアクトクラブ)
	地区幹事	山下 彩夏	(赤平ローターアクトクラブ)
	地区広報	北村 秀美	(千歳ローターアクトクラブ)

函館大学ローターアクトクラブ 中村 水紀

札幌幌南ローターアクトクラブ 門脇 みなみ

赤平ローターアクトクラブ ◎塩地 恵実

千歳ローターアクトクラブ ◎汪 可昵 白木 郁江 広岡 啓子

1 日 目 ~ 1 月 2 2 日 (金)

出発～台北まで

1月22日から海外研修が始まりました。今年度の訪問先は台北。2年ぶりの実施ということもあり、参加人数はロータリアン3名を含む13名で、近年では大人数の参加となりました。あいにくの大雪で出発が1時間遅れ、さらに台北は大雨、ここ数十年で1番の寒波で、寒い中での研修スタートとなりました。

空港からサントホテルまでは専用バスにて移動し、ガイドの蘇(ソ)さんから台北の観光名所などの説明を受けました。夕食はホテルの近くで、台湾のご当地グルメ「魯肉飯(ルーロンハン)」を食べました。豚肉を刻んでショウガやニンニク、八角などで甘辛く煮込み、これをご飯にかけたもので、おいしくいただきました。



新千歳空港から出発します！



台湾桃園国際空港に到着



台湾銀行で換金



レートは… 1円＝約3.5台湾ドル



ガイドの蘇さんが丁寧に説明してくれました



バスの中で次の日の打合せも行いました



悪天候でしたが…無事ホテルに到着



台湾らしい飾り物もありました



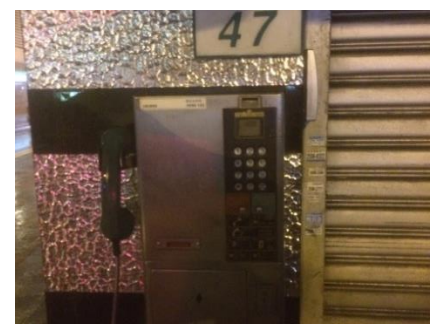
台湾の食事のメニュー



右側が魯肉飯



揚げ出し豆腐や鯖などもありました



道中、台湾の公衆電話も発見しました

2日目～1月23日(土)

龍山寺・鼎泰豊

2日目の午前中は、台北のパワースポットとよばれる「龍山寺（ロンシャンスー）」を訪れました。龍山寺は1738年に大陸福建省泉州から渡ってきた漢民族の移民たちによって創建されました。ここでは台湾のしきたりに従って、住所、名前、生年月日言い、三回頭を下げ、線香を左手で香炉に入れるといった参拝を行いました。また、ここではたくさんの神様が祀られており、学問や健康、仕事の神様への参拝者が多い印象を受けました。

昼食は、日本にも進出している「鼎泰豊」で小籠包などを堪能しました。本場の小籠包と、日本語で親切に対応してくれたスタッフに感動しました。



龍山寺に到着！



天気はあいにくの大雨でした…



線香に火をつけて、参拝の準備



香炉に線香を1本ずつ入れます



学問の神様が祀られていました



受験票のコピーを備えて、合格祈願



職業や恋愛の神様も祀られています



参加者全員でお祈りしてきました



お守りもたくさんあり、購入しました



鼎泰豊でおいしい小籠包を食べました！



本場の味に舌鼓を打ちました！「好吃」



食後のデザート…マンゴーかき氷

台湾のアクター との交流①

2日目の午後からは、台湾のアクターの皆さんと合流し、交流イベントが始まりました。まずは淡水市内の商店街を探索し、台湾の有名な食べ物やパンなどを食べ歩きしながら、日本や台湾のことなどを語り合いました。最初は緊張していましたが、すぐに仲良くなり、笑顔の絶えない時間となりました。

その後は「紅毛城（こうもうじょう）」を見学しました。ここでは、当時台湾北部を拠点としていたスペイン人により建設され、1867年以降はイギリス領事館が業務を開始した台湾に現存する最古の建築であり、1600～1800年代の台湾の歴史の一端に触れることができました。



淡水駅で合流！



みんなで自己紹介しました！



皆さん日本語が上手でした



宇戸 RA 委員と台湾のアクター



たくさんの方と名刺交換しました



淡水の街並み



台湾のパン「金牛角」



台湾のアクターと食べ歩き中



「スイーツ女王」という称号を得ました(笑)



紅毛城の前で参加者と



紅毛城の内観①



紅毛城の内観①

台湾のアクター との交流②

淡水で観光した後は、漁人埠頭に行き、フェリーに乗船しながら合同例会を行いました。点鐘、両地区からのあいさつや記念品・お土産の贈呈を行い、立食形式での夕食となりました。

台湾の方々の日本語の上手さに感動し、また、日本語が話せない台湾の方とは英語を使ってコミュニケーションをとりました。なかなか思い通りに英語を話すことができない場面もありましたが、身振り手振りを交えながら交流しました。

台湾のアクト活動の活発さや積極性を吸収できたと同時に、日頃から一生懸命日本語を勉強している姿に大変刺激を受けました。



チェンさんの通訳…見事でした！



台湾東海 RAC・ウェイさんのあいさつ



林台北東海 RA 委員長のあいさつ



卓 3480 地区 RA 委員長のあいさつ



台湾語で少しだけあいさつしました(笑)



記念品・おみやげの交換



ロータリアン同士もプレゼント交換です



当日のネームも日本語でした



立食パーティの様子①



立食パーティの様子②



立食パーティの様子③



代表、見切れちゃいました…

台湾のアクター との交流③

立食後は、日本と台湾にちなんだ〇×ゲームを行い、両地区のさまざまな情報を楽しみながら知ることができました。また、台湾からはインターアクトの世界大会と台湾の文化や風土などについてのプレゼンテーションをしていただき、台湾のアクターが目的をもって積極的に活動している様子と、台湾の良さを再認識することができました。当地区からも地区・活動紹介と、北海道の紹介、そして北海道の方言をプレゼンテーションしました。北海道の方言は非常に盛り上がりました。

クルージング終了後、士林夜市に案内していただき、交流会が終了しました。台湾の皆さんとの別れが名残惜しかったですが、充実した1日となりました。



1問目は×（バツ）かな！？



結果、代表は1問目で撃沈…



当地区唯一、汪さんが入賞！



インターアクトの紹介



当地区からのプレゼンテーション①



当地区からのプレゼンテーション②



台湾についての紹介



宇戸 RA 委員からのあいさつ



クルージングの最後に記念撮影



士林夜市に到着！



白いブラックサンダーと台湾のアクター



APRRC などでの再会を約束しました

3日目～1月24日(日)

観光①

牛肉麺・九份

3日目の午前中はパイナップルケーキをはじめ、台湾名物のお土産などを購入し、昼食は牛肉麺を食べました。

午後からは、タクシーを使って「千と千尋の神隠し」の舞台のモデルとなったといわれる九份に向かいました。たくさんの観光客と臭豆腐のにおい、そして台湾ではここ数十年では見られなかったという雪も降り、印象に残りました。

途中、自由行動もあり、アクトについて語り合う場面もありました。普段なかなか聞くことができないさまざまな話をする事ができ、「仲間と楽しく、積極的に、そしてやる時はやる！」といった意識をもつことが大切だと改めて感じました。



数々の賞を受賞している「佳德糕餅」



パイナップルケーキを「爆買い」



スーパーマーケットも探索してみました



近代的なビルが立ち並んでいました



築数十年経ったようなアパートもありました



地図やスマホを使って道を調べています



やっとの思いで牛肉麺にたどり着きました



中国では水餃子の方がメジャーだそうです



台湾の食文化に触れることができました



タクシーで1時間かけて九份に到着



九份では有名なタロイモ団子



気温1度…温まりました♪

観光② 九份・台北 101 火鍋など

九份から戻ってきた後は、2008年までは世界一高いビルであった台北 101を訪れました。夜、そして天気が悪かったこともあり、頂上から台湾の街並みを一望することは、残念ながらできませんでした。

海外研修最後の夜は、火鍋を囲みながらみんなで夕食を摂りました。仲間とともに自分たちで考え、積極的に行動し、そして情熱をもって参加者同士や台湾のアクターと交流できたことは、今後の私たちにとって大きな経験となりました。

夕食後は夜市を見て回ったり、台湾マッサージに行き旅の疲れをいやしました。夜遅くまで台湾を存分に楽しむことができました。



「湯婆婆の屋敷」を発見！



台湾のお茶も程よい苦みで美味でした！



お茶しつつ、アクトのことを語り合いました



「千と千尋の神隠し」らしい風景



台北 101 の外観…かなり高い！



最後の夜は火鍋を囲んで…



想像以上に辛かったですが…美味！



会話も盛り上がりました！①



会話も盛り上がりました！②



石山 RA 委員長のステキな笑顔(^^♪



台湾マッサージももちろん体験！



一番不健康そうな人が問題なしでした…

4日目～1月25日(月)

出国・帰国

最終日は、午前中に台湾を出発し、夕方に日本に帰国しました。
出国前にはリオさんがお見送りに来ていただき、今回できたつながりをより濃いものにすることができました。

参加者全員がそれぞれ刺激を受け、さまざまなことを学び、感じることができました。この経験を今後に生かし、さらに自己を磨いていきたいと思えます。

3月に京都で行われる APRRC にも参加するメンバーが何人もいましたので、今から再会を楽しみにしています。

最後に、今回の研修にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



帰国日に、初めて晴れました…涙



台湾桃園国際空港のようす



「カメラがない…」5分後に見つかりました



リムさんがお見送りに来てくれました！



APRRC での再会を約束しました！

『講評：ローターアクト海外研修報告』

国際ローター第 2510 地区ローターアクト委員長 石山 嘉治 様

当地区ローターアクトクラブでは、ローターアクト 6 つの目標に掲げられている地域社会と世界各地のニーズ、問題、機会に対する知識と理解を深めること、国際理解と善意を推進することを目的として、海外研修を行っております。

海外研修は他国の文化に触れ、他国の活動を学び親睦と交流を通じて自己研鑽し所属するクラブの奉仕活動に生かし大きく成長する機会であります。

今年度は 4 ローターアクトクラブ 10 名のアクトに加え今井義憲、宇戸啓隆地区委員にも参加頂き総勢 13 名で 1 月 22 日～25 日 3 泊 4 日の日程で台湾に行っていました。

低気圧の影響も弱まり台湾までの飛行は順調で予定時刻に出国。通常なら夜間でも 15 度前後の気温ですが雨と低温で寒さに震えるほどでした。

23 日あいにくの雨が降りしきる中、台湾アクターと合流する關渡（ワンドゥ）駅到着。

そこから淡水町までのサイクリングが雨天により中止となり淡水町散策、旧イギリス領事館見学に変更し、フェリーターミナルで懇親会場であるクルーザーに乗船。

降り続く雨で視界が悪いため湾内クルージングを中止し艦内で懇親会となりました。

会場に国際ローター第 3480 地区台北東海ロータークラブ「林 俊宏」ローターアクト委員長、国際ローター第 3480 地区ローターアクト委員会委員長「卓 有信」氏の臨席を頂き台北東海 RAC、新竹北区 RAC メンバーと親しく懇談致しました。

林 俊宏ローターアクト委員長は日本に留学経験もあり、また所属しているクラブが日本語で例会を行うなどと話され、ロータークラブやローターアクトクラブの活動内容について親しくお話をさせていただきました。

台湾アクターが用意してくれたプロジェクターを使い、石川地区代表は 2510 地区の各クラブ紹介、その後地区主催の年間行事について地区役員が行事ごとに地区交流キャンプ、地区協議会、地区大会、2500 地区との北海道交流会や全国ローターアクト協議会で他地区との交流を行っているについて説明しました。

行事説明の後石川地区代表が北海道の気候、観光等を話し、北海道方言の解説。「なまら」「したっけ」「ばくる」の説明で大爆笑でした。

台湾のアクトの皆さんも観光や自然の〇×クイズで盛り上げてくれました。

この度の海外研修は台湾総統選挙直後で台湾がおかれている現状や日本と台湾の外交、経済の結びつき等多くを学べる機会であったと思います。加えて台湾国籍で、千歳ローターアクトクラブ汪（ワン）会長が台湾滞在期間ツアーガイドをしてくれたお陰で台北 MRT（都市鉄道）EASYCARD（悠遊カード）乗車やアクターの希望を聞いて食事の予約、商店街の案内、タクシーの値段交渉等大いに活躍していただきました。

今回の研修によってアクターが以前より太い絆で結ばれ親しくなれたのではと感じております。4 日間の親密な一体感は今後の各クラブの奉仕活動や地区行事に生かしてくれることを望んでおります。

今後の海外研修については複数年同一地で交流し、共同で奉仕活動するなど成果を上げられるようなプログラムを組んでみてはと感じました。

今回のローターアクト海外研修旅行は大いなる成果を上げたと思います。

『2015～2016 年度海外研修を終えて』

国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト代表 石川 樹 (赤平 RAC)

平成 28 年 1 月 22 日から 25 日にかけて、台湾・台北を訪問し、海外研修を実施しました。

海外研修の大きな目的は、「海外の訪問先のローターアクトとの親睦・交流」、「現地の文化や歴史を学び、吸収する」といった点であり、ロータリー五大奉仕の中でも「国際奉仕」、「青少年奉仕」といった観点が色濃く出ている活動といえます。また、地区としても最も大きな行事のひとつであります。

地区代表として、海外研修の主な目的に沿って 4 日間の研修を振り返りたいと思います。

まず、「海外の訪問先のローターアクトとの親睦・交流」であります。1 月 23 日に台北東海ローターアクトクラブほかたくさんの方と交流してきました。

当日 14 時に集合し、淡水市内を観光し、漁人埠頭にてフェリーに乗船し、クルージングをしながら合同例会を行いました。淡水市内は台北のローターアクトの皆さんに案内していただき、現地の有名な食べ物や観光地を回りながら、日本や台湾の様々な話をし、親睦を深めました。また、合同例会では、両地区のおみやげ・記念品の交換、夕食、○×ゲーム、両地区の活動・地域紹介を行い、参加者全員が楽しみながら交流深めることができました。

この交流を通じて一番驚いたのが、台北東海ローターアクトクラブの皆さんが想像以上に日本語が堪能で、何不自由なくコミュニケーションが取れたことです。私を含め 2510 地区からのあいさつなどを見事に通訳したりと、日本語を公用語として例会を行っている点も含め、感動しました。一方、日本語を話せないアクトの皆さんとは英語を使つての会話でした。私も学生時代の知識を思い出しての英会話でしたが、身振り手振りで自分の伝えたいこと、相手が伝えたいことを感じ取りながらコミュニケーションができたと思います。

台湾や日本のローターアクトについて語り合ったり、APRRC に参加する方には再会を約束したり、また、夜遅くにもかかわらず士林夜市に連れてもらったりと、言語は通じなくとも思いがあれば、こんなにも中身の濃い親睦ができ、交流を深めることができると確信しました。日本国内はもちろんのこと、日本国外の方とつながりができたことは、私を含め、参加者それぞれの財産になると感じています。

次に、「現地の文化や歴史を学び、吸収する」点では、今回たくさんの方の観光地を巡りました。

食べ物では、魯肉飯や小籠包、火鍋といった料理を食したり、龍山寺では台湾の参拝方法を体験し、映画「千と千尋の神隠し」のモデルとなったといわれる九份では、屋台を含めた特徴ある街並みとお茶を堪能しました。また、市街地では台北 101 や地下鉄といった近代的な街並みがある一方、裏地に行くと、築数十年が経っているような団地が並んでいるなど、ニュースやインターネット等で台湾についての情報を見る以上に街並みや住民の生活の違いを体感することができました。やはり、目先の情報だけでなく、実際に足を運び、自分の五感を使って確かめることが重要で、それが国際奉仕の第一歩なのではないかと思いました。

以上から、海外研修だからこそ味わえる国際交流・国際理解といった観点で、それぞれが大いに学び、考えることができたと思います。私を含めて参加者全員にとって、目的は達成することができたと感じています。

さて、今年度の海外研修は 2 年ぶりの実施ということもあり、今後も継続的な実施を考えると、充実した成果を上げることができるよう、年度当初から計画・討論のうえ実施することができました。また、近年では最多の 13 名というご参加をいただき、大変うれしく思っています。

今年度の地区ターゲットは「原点回帰」としてありますが、ここ数年なかなかできずにいた行事や活動をもう一度見直し、実施するという意味も込められています。こうした点からも、地区代表として海外研修は何としても参加者にとって有意義な内容になるよう準備を進めてまいりました。結果は先に述べたように、一定の成果を上げることができたと同時に、地区代表として一つの責務を果たせたのかなと勝手ながら思っています。

また、異国の地での研修ということもあり、個々が自分の役割を自覚し、仲間のために行動し、チームワークを大切に行動できたことや、台湾のアクターをはじめ当地区の仲間同士でも情熱を持ち、心から交流できたこと…今年度のサブターゲットに掲げている「団結・情熱・行動」の3つのキーワードを体現することができ、また、私自身が目指している地区のあり方が形となって表れた4日間だったと思います。

参加者全員が当地区ローターアクトとして成長できたことを大切にしながら、この経験を当地区のローターアクト会員に伝え、地区全体がますますレベルアップできれば、より活発な地区になると信じています。そのためにも、残り短い任期ではありますが、地区代表として責任と自覚を持ち、先頭に立って行動できるよう努力していく所存です。

終わりになりますが、昨年9月から周年行事があるにもかかわらず連絡調整をしてくださった台北東海ローターアクトクラブのチェンさん、ならびに当日私たちのために集まって下さった台湾のローターアクト関係者の皆さま、石山地区ローターアクト委員長をはじめお忙しい中ご参加いただきました地区ローターアクト委員の皆さま、そして今回参加してくれた9名のローターアクトの皆さま…皆さまのご協力と、力不足で頼りない地区代表を信じてついてきてくださったおかげで、大変充実した4日間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

『海外研修を通じて』

国際ローター第 2510 地区ローターアクト 地区代表補佐 深貝 友香梨（札幌幌南 RAC）

今回初めて海外研修に参加させていただきました。この3泊4日の貴重な経験を通して、台湾の魅力と自分自身の今後の課題を感じることができました。

台湾の魅力は、特に、観光で龍山寺を訪れたときに感じました。

例えば、日本では、1つの寺で1人の神様が祀られています。台湾では複数の神様が祀られていること、参拝方法も線香を持ちながら礼をし、神様に心の中で自分の名前、住所、生年月日を告げた後に願い事を告げる方法であることなど、日本とは異なる台湾の文化の違いを自分の目で見ることができました。

また、願い事はより具体的である方が良いとされているようで、30分もの間ずっと同じ姿勢で参拝を行っている方の姿も見かけました。このような光景からも、台湾の信仰の深さを知ることができたと同時に、信仰の方法ひとつでも文化の違いがあることに興味を沸き、もっと学んでみたいと思いました。

次に、自分自身の今後の課題を最も実感することができたのは、現地のアクターとの交流会です。

研修2日目に台北東海ローターアクトクラブをはじめ多くの方々と交流しました。日本とは異なる言語・文化・環境で生活、活動している方々と話している中で、私は次の2点をもっと成長しなければならないと感じました。

1点目は視野をもっと広げることです。英語や中国語がわからなかったことで、コミュニケーションが思うようにとれなかったと反省しています。台北のアクターの方々には日本語で会話もでき、芸能や観光地など日本の文化に関しても詳しくかったです。今後、このように様々な言語や文化について興味や探求心を持ち、さまざまな知識を増やしたいと思います。

2点目はローターアクトの取り組み方についてです。台北のアクターに活動内容を聞いたところ、周年行事で作成した招待状を見せてもらいながら、さまざまな活動を楽しみながら取り組んでいることを教えてもらいました。その時の表情はみんな明るく、やりがいをもって取り組んでいる様子が伝わってきました。この様に活動を行うためには、どのようにしていけば良いのか考えさせられました。私も台北のアクターのように、ローターアクトの活動が実りある活動にできるよう、この海外研修で学んだ経験を活かしていきたいです。

以上、台湾の魅力や自分自身の今後の課題を見つけられたことで、自分自身が成長できた海外研修となりましたし、思い出に残る4日間になったと思います。

最後になりましたが、海外研修のために時間を割いてくださった台北東海ローターアクトクラブをはじめ台湾のローターアクトクラブの皆様、お忙しい中今回の海外研修で最後まで引率してくださった石山地区ローターアクト委員長、今井委員、宇戸委員、今回一緒に研修に参加した石川地区代表はじめ当地区ローターアクトの皆様には感謝しています。ありがとうございました。



『海外研修に参加して』

国際ローター第 2510 地区ローターアクト 地区幹事 山下 彩夏 (赤平 RAC)

平成 28 年 1 月 22 日～25 日、ローターアクトとして二度目の海外研修に参加させていただきました。4 年前の海外研修で台湾を訪れ、その際にも交流した台北東海ローターアクトクラブの皆さんが私達をあたたかく迎え入れてくれました。

前回同様に、台北東海ローターアクトクラブの皆さんの日本語力、コミュニケーション能力の高さに驚かされるとともに、あるローターアクトの話がとても印象に残りました。彼女は、旅行会社の添乗員など日本語を用いなければならない仕事に就いていないにも関わらず、日々日本語を勉強し、自らの能力を磨き続けているとのことでした。日本のアニメに興味を持ったことがきっかけで日本語を学び始め、将来は日本で働きたいと真剣に考えていると教えてくれました。夢・目標を明確に持ち、それを実現するために努力されている彼女の姿に感銘を受けました。

夢を描くことで、その夢を実現させようと目標を立て、今度はその目標を達成するために計画を立てることへとつながっていくかと思いますが、自分自身を振り返ってみると、与えられた役割や仕事をひとつひとつこなしているだけの毎日であるような気がします。しかし、彼女のように夢・目標を持つことで、今自分が何をしなければならないのかが見えてくるのではないかと思いました。職業人として目標を掲げたときに、より専門性を磨くために何か新しい分野にチャレンジしてみたいと感じました。

この海外研修で、たくさんの刺激を受けて帰国しました。感じたことや学んだことをローターアクトでの活動へ活かすことにとどまらず、自分自身の生き方についても考えるきっかけにもなりました。このような貴重な機会を設けてくださり、大変嬉しく思います。

海外研修に同行して下さった石山ローターアクト委員長、今井ローターアクト委員、宇戸ローターアクト委員、さらにご支援いただいた提唱ロータークラブ、第 2510 地区ロータークラブの皆様にご感謝を申し上げます。ありがとうございました。



『海外研修に参加して』

国際ローター第 2510 地区ローターアクト 地区広報 北村 秀美 (千歳 RAC)

1月22日から25日まで、初めて、第2510地区海外研修に参加させていただきました。雪の影響で飛行機の遅れもあり、5時間半のフライトでした。出発前の情報だと台湾には寒波が来て寒いと聞いていましたが、到着初日は、とても寒く聞いた通りの予報でした。

今回3泊4日と短い期間でしたが、3泊4日は私にとってとても濃厚な4日間で、今まで私が経験したことがないことを経験できた成長の研修になったと思います。

台湾に到着してからは、街のにおいや、食べ物のおいが印象的でしたが、食べてみるととても美味しくその美味しさに驚きました。台湾に来る前は不安があったのですが台湾に来てからは、台湾がとても好きになり、機会があればまた来たいと思うようになりました。

私が台湾に来て、一番印象的なのは、日台交流例会です。

台湾のローターアクトは3クラブあり、台北東海ローターアクトクラブ、台北西北区ローターアクトクラブ、新竹北区ローターアクトクラブの皆さんが私たちのために、集まってくださり、歓迎してくださいました。

まず、台湾のアクターの皆さんが日本語を話しているのに驚きました。こんなにも日本の事に興味を持っていてくれるということ。こんなにも日本を好きでいてくれるということ。

私は、中国語も英語も話すことができませんが、皆さんと会話をするために、教えていただいた片言の英語で会話が出来、気持ちが通じたことに感動と嬉しさを覚えました。

台湾のアクターの皆さんの話を聞いていると、アクトクラブに対しての愛情、情熱、希望、夢を感じられました。私はというと、周りを気にしながらの活動ではないかと、台湾のアクターとこちらのアクターとの差がものすごく感じたのです。活動していることを聞いてもそれはものすごく「自由に、いきいきと、自分たちらしく」が一番に感じた感想でした。私とアクトに対する考え方も全く違い、聞いていて私もまだまだ頑張らなければと感じた会話でした。改めて、ローターアクトというものを再度考える良い機会となりました。

台湾のローターアクトクラブの皆さんがあるものを見せてくださいました。それは、自分たちで作成したという記念式典用のパンフレットでした。見た瞬間、プロが作ったかのように、とてもこだわりがあり、自分たちで考え、自分たちで構成し、皆で手分けして作成、とても素晴らしいパンフレットでした。

私たち2510地区も、パソコンと資料を使い、第2510地区の紹介や北海道の紹介をさせていただきました。今回研修に行かせていただいた13名で分担し、活動を紹介させて頂きました。

日本と台湾。こんなにも距離は離れているのに、会って交流しているだけで、お互いの絆がどんどん深まっていくのがとても新鮮でとても実りのある日台交流例会でした。台湾のアクターの皆さんとの交流は私にとってとても充実した一日となり、また自分を見直す良いきっかけとなりました。この海外研修がいつまでも引き継がれていき、日台交流を行い、さらに絆を深めていただくことを希望いたします。

終わりに、今回この海外研修を実施させていただきました、第2510地区石山ローターアクト委員長様、関係ロータークラブの皆様、提唱ロータークラブの皆様、現地台湾で案内してくださいました汪さん、研修旅行で過ごした12名の皆さんに心より感謝いたします。本当にありがとうございました。



『2015-2016 年度 国際ロータリー第 2510 地区 ローターアクト 海外研修 in 台北』

国際ロータリー第 2510 地区 函館大学ローターアクトクラブ 中村 水紀

今回の海外研修に参加させていただいて学んだことがたくさんありました。

私は、ローターアクトに入って、7 か月とまだ短く、ローターアクトについて解らないことがたくさんありました。ですが、この研修中に皆さんと色々な話をした中で知ることができました。

22 日、新千歳空港で集合し挨拶と軽い自己紹介をしました。かなり緊張して、何を話したのか覚えていません。(笑) ですが台湾に着く頃には緊張も解け、それから帰国まで楽しむことができました。

2 日目の午前中に行った龍山寺はパワースポットということで、学業の神様と有名な恋愛の神様に真剣にお祈りしました。台湾の参拝の仕方は日本と全く違いました。お願い事をする際も、自分の住所・生年月日・名前を言ってからお願い事をするなど、教えてもらいながらやりました。お守りも学業のものを買ったので、しっかり勉強も頑張ろうと思います。昼食は小籠包！私は台湾に行く前から食べ物ばかり楽しみにしていて、研修中たくさんの食べ物をたべました。中でも 1 番美味しかったのが本場の小籠包でした。そして、食後に行ったマンゴーかき氷のお店では、全員で 3 つのかき氷を頼み、シェアして食べました。一つ一つが大きくて「食べきれないかな。」と思うほどの大きさでしたが、“甘いものは別腹”ということでした。食べ過ぎて“スイーツ女王”というあだ名まで出来ました。(笑)

午後からは台北のローターアクトとの交流。淡水の商店街を散策し、紅毛城という元のイギリス領事官だったお城を見学し、淡水川をクルーズしました。私はこのクルーズが研修の中で 1 番濃い時間だったなと思います。船の中では、食事をしながら台北のみんながたくさん話しかけてくれて、とても盛り上がり楽しい時間でした。その他にも、台北のローターアクトがしている活動を発表して頂き、台湾での正月の過ごし方など、文化の違いも学びました。台湾と北海道についての〇×問題などもあって、たくさん驚きもあり、楽しみながら台湾のことを知ることができました。クルーズ終了後はそこで解散のはずでしたが、台北の方たちが士林夜市を案内してくれました。みんな英語か日本語を話せて、それが当たり前のように、私は大学で英語も勉強しているので、とても良い刺激になりました。

3 日目はローカルなスーパーで買い物をして、昼食は牛肉麺、そして九份へ行きました。千と千尋の神隠しで有名な九份はよく目にする有名なスポットを見たときはとても感動しました。その後の自由時間は石川さんたちと湯婆婆の屋敷のモデルとなったと言われているお茶屋さんで過ごしました。そのとき私は疑問に思っていたことを質問し、相談することができました。解らないことなど優しく教えていただき、アドバイスをもらってこれから頑張ろう！と思え、自分のしていくべき行動が少しずつ見えてきたような気がしました。

今回の研修全体を通して初めて経験したこともたくさんあり、反省すべきこともあって、全てにおいて学び、参加したことに意味のある研修にすることができたと思っています。今回この研修に参加していなければこれからはただ何となくアクトに入って何となく過ごしていただろうなと思いますが、この研修で皆さんから学んだことで、私がすべきこと、これからどうやって活動していくか考えることができました。それだけでなく、集団行動や言葉遣いなどの社会的なことも学びました。まだまだ失礼な行動など自分では気がついていないところもあると思うので、このような場で練習させて頂けたことに感謝します。これからも今回の経験を自分のローターアクトのみんなに伝え、生かしていくことが今回参加させていただいた私の役目だと思ってしっかり活動していきます。

本当に楽しく良い刺激をもらった 4 日間でした。この経験を忘れずに様々な面で生かし、ローターアクトの一員としてこれからも頑張っていこうと思います。ありがとうございました

『海外研修の報告』

国際ロータリー第 2510 地区 札幌幌南ローターアクトクラブ 門脇 みなみ

この度は初めて、ローターアクト海外研修に参加させて頂きました。3泊4日という短い期間とは思えない程、多くを経験できたように感じます。なによりこの研修を実現させて頂いたロータリアンの方々、そして計画を立ててくれたら皆、現地で助けてくれたメンバー、楽しい時間を一緒に過ごしたメンバーに心より感謝申し上げます。

台湾を訪れるのは初めてでしたが、降り立ってまずは排ガスのおい、屋台独特のおい(臭豆腐)に驚かされました。それでも出会う食べ物はどれも非常に美味しく、特に飲茶と餡ものは最高でした！

また数十年来の寒波が台湾にやってきたことも、大きなニュース。宇戸さんのお言葉を借りれば「私達が北海道から寒さを連れてきた」ようで、九份(千と千尋の神隠しの舞台)では雪が降り、皆歯を震わせながら観光したのも思い出です。

台湾のアクターの皆さんとの交流は、日本と英語、中国語を織り交ぜながら楽しい時間を過ごす事が出来ました。淡水観光の後、淡水川のクルーザーの上で例会が催されました。例会では台湾の歴史的なお祭りや、それにちなんだ食べ物の紹介や、台湾で開かれるアジア大会に関する情報、日々の社会貢献活動などを発表して下さいました。私達も活動報告や北海道弁講座、北海道紹介を通して、2510地区について知っていただきました。

半日という短い時間、そして言語の違いにも関わらず、共に過ごした皆さんと心を通わせる事ができたのも、ロータリーの素晴らしさだと感じております。いつかまた皆さんと再会し、互いの交流がさらに深まることを祈っております。

貴重な経験を、どうも有難うございました！謝謝。



『海外研修を終えて』

国際ロータリー第 2510 地区 赤平ローターアクトクラブ 塩地 恵実

2012 年に海外研修で初めて訪れてから二度目の台北訪問でした。前は、北海道内が猛吹雪のため新千歳空港まで辿り着けず赤平組は一日遅れの参加となってしまいましたが、今回は初日から参加することができ一安心しました。しかし今回は台北の方で記録的な寒波に見舞われ、滞在中は雨や寒さが続いたことは少し残念でしたが、無事に充実した研修を終えることができました。

今回の海外研修の中で一番の収穫と感じたことは、台北東海ローターアクトクラブの方々との再会できたことです。4 年前の交流会で同じテーブルになった方がまだ現役で活動されていて、お互いに覚えていてとても嬉しかったです。自分が赤平でアクト活動していた 4 年間、世界でも同じようにアクト活動していた人達がいるのだと感慨深く感じました。

東海ローターアクトの方々とは相変わらず日本語が堪能で全く不自由なくコミュニケーションが取れて、楽しく交流することができました。個人的には、前回よりもたくさんの人と積極的に会話することができて良かったです。難しい内容も多いお互いのクラブの挨拶やプレゼンなどを、その場で瞬時に通訳してくれた、チェンさんやワンさんの日本語力には脱帽でした。東海ローターアクト以外のクラブの方とは英語でのコミュニケーションでしたが、改めて自分の英語力不足を痛感しました。来月には全国研修会と同時開催の APRRC が控えています。今回以上に英語が必要であろうということと、今回台北でお会いした一部の方々も参加されるそうなので再びお話しできる機会のために、少しでも勉強しておきたいと思います。

交流会では、私たちの地区の活動についてプレゼンテーションしました。石川代表の、北海道弁についての紹介が好評でとても良かったと思います。先方のプレゼンテーションでは、台湾の祝日とその時に食べるべき食べ物について紹介してくれた、ユーモア溢れるプレゼンが内容も興味深く面白かったです。

台北は交通網が充実していて、特に地下鉄は駅や車両もキレイで低料金で非常に便利でした。台北 101 周辺のショッピングビルが並ぶ大通りなどは表参道のような街並みで、発展していると感じました。

反対に、前回も同様に感じたことですが、これだけ発展している中で遅れているように感じてしまうのはトイレ事情です。台湾のトイレは水洗ですが、水圧が弱かったり配水管が細く詰まってしまうため、トイレットペーパーは便器に流すことができずゴミ箱に捨てています。近年、北海道に訪れるアジア人観光客が年々増えていますが、道内のトイレでもゴミ箱が溢れかえっていたり、汚い使い方をされている所をよく見かけるようになりました。インバウンド対応として、きちんと使用方法を掲示したり、日本のきれいなトイレをきれいに使ってもらえるように説明していかなければならないと実感しました。

前回初日に参加できなかったため行きそこねていた、念願の小籠包の有名店に今回リベンジすることができました。このお店で驚いたのは、スタッフの誰もが笑顔で接客してくれたことです。日本では当たり前になってしまっていることですが、外国でこのような接客は見かけませんし台北でも同じようにほぼありませんでした。世界的に有名で、日本人をはじめ外国人観光客が多く訪れるお店なので、かなりグローバルな接客教育が徹底されているのかなと感じました。それまで真顔で中国語を話されていると、なんだか悪い内容のような、キツイ印象けていましたが、少し笑顔になるだけで印象も柔らかく、言葉はわからなくても親切な対応をされていると分かり、笑顔の大切さを感じました。

今回の台北訪問は二回目だからこそ、余裕をもって、日本と台湾の違いを見てくることができたと思います。4 年前にもお会いした東海ローターアクトの方々との再会できたことと、グローバル化やインバウンドの流れを実際に見ることができ、実りの多い海外研修になりました。皆さん本当にありがとうございました。

『海外研修を終えて』

国際ローター第 2510 地区 千歳ローターアクトクラブ 汪 可悒

一日目

初めてローターアクトの海外研修に参加させていただきました。今回は私の母国台湾です。自分の国なので、もちろん初めてではないですが、たくさんのメンバーに台湾を案内するのは初めてです。しかも行く前に台湾は大きい寒波が来ると聞きました。行ったらまさかの 44 年ぶりの寒さで自分の国の雪を初めて見ました！

初日第 7 グループの坂井ガバナー補佐がわざわざお見送りに来てくださり、空港内の募金箱を紹介していただきました。飛行機が一時間も遅れ台湾の夜九時半くらいに到着して、ホテルに着くのは夜の 11 時になってしまいました。雨にもかかわらず 13 人で夜食を食べに出かけました。時間が遅かったため、近くにある「鬍鬚張」という料理屋で「ルーローファン」など庶民料理を食べました。

二日目

翌朝九時にホテルから MRT（捷運ジエユイン）という交通システムに乗って台湾の有名なお寺—龍山寺に行きました。線香の供え方から巡り方までメンバーに説明しましたが、印象的なことが二つあります。女性陣はやはり恋愛に興味深々で雨でも精一杯神様をお願いしていました。その姿に感動して忘れられません。もう一つは私がメンバーに説明している時に近くに居た日本の方お二人にやり方を聞かれ、台湾に留学している日本人だと思われて、他の日本の方も私たちの方に並んで聞こうとしたことです。

お昼は鼎泰豊のショウロンボウ料理と思慕昔のかき氷を食べました。週末だから席につくまで 45 分も待たされて、寒いのに冷たいデザートを食べさせていいのかちょっと不安でしたが、みなさんの幸せそうな顔を見て、安心しました。その後は 40 分くらい MRT に乗って、今回の海外研修の目的のひとつ、台北のローターアクトとの交流に行きましたがさすが疲れていたので、MRT ではほぼ全員寝ていました。笑

新北市の關渡で台北東海アクトと合流して淡水に行きました。今回台湾アクトはなんと台北東海ローターアクト、台北西北区ローターアクト、新竹北区ローターアクトクラブの三つも来ていただきました。特に新竹のアクターに感謝です。北海道から行った私たちを接待するために一時間半かけて来てくれました。グループを分けて淡水散策して、バスに乗って移動し、夜 6 時くらいにやっと合同例会の場所に着きました。船で淡水河を巡る予定でしたが、天気荒れていたため、動かなかった船の中で例会を行いました。きれいな夜景を見れなかったが、みなさんの熱情でとてもにぎやかで成功な日台交流例会でした。

地区石川代表をはじめ、地区役員のみなさんはとても素晴らしいパワーポイントを作って言葉が通じなくても落ち着いて 2510 地区 RAC を完璧に紹介しました。一部の通訳をした私も日本語の勉強と母語の復習ができました。笑

言葉が通じなくても知り合いになりたかったらとりあえず声をかける、とりあえずジェスチャーで伝える、これは台湾人の国民性かなと言うのが今回研修の感想の一つです。また日本語を使って行う例会がある台北東海アクトにも感心です。みなさんがアクトに入会したきっかけとどんな活動をしているのを聞いたら、すごいなと思いました。世界は広い、若い世代の力は重視すべきですね。その夜私の友達また 20 人近く増えました！

三日目

台湾生活体験と観光でした。午前中は台湾人が行っているスーパーで買い物とお土産のパイナップルケーキ屋さんを案内しました。大きい家族のような買い物でとても楽しかったです！13 人のためタクシーを一気に三台を呼び、行き先を伝えるのは時間がかって、後ろの車の運転手さんにクラクションを鳴らされました。でもこれもツアーで体験できない経験の一つですね。

三日目・続き

やっと台湾庶民料理の牛肉麵屋さんに着きました。メニューの説明からオーダーまでして、ガイドさんの仕事体験ができて水餃子が一段と美味しかったです。次は高速バスの体験をしてもらうつもりでしたが、日曜日で混んでいるため九份行きバスは満車で乗れませんでした。あまり時間がなかったため、そこに隣に並んでいた乗客を誘って、一緒にタクシーに乗っていかないですか？との交渉をしました。タクシーをまた拾ってさらに値段の交渉もできて普通に走った分の金額より安くしてくれました。本当によかったです！ずっと雨でしたが、九份に着いた時は降っていなかったのに、なんと44年ぶりの台湾平地の雪を見ました。寒さに耐えられずマフラーや手袋などの防寒用品を買ったメンバーたちと九份散策が始まりました。有名な映画「千と千尋の神隠し」のモデルになったといわれるスポットを案内してから、自由行動としました。一部のメンバーに九份の名物の芋トロゼンザイを案内して一緒に頂きました。

夜は台北101ビルに行って晩御飯の火鍋屋さんに行きました。食べ放題でしたし、台湾特有の鴨血とブタ血モチも体験してもらいました。人生初の辛い鍋料理みなさんが辛い、うまいとの声はまだ耳に残っています。とても幸せでした。もう遅い時間でしたが、終電がなくなるまで一部メンバーと夜市で買い物とマッサージをしました。帰りはもう夜中の二時くらいでした。

四日目

空港に向かっていた途中でずっと見たかった太陽が出てきました。苦笑

空港に着いたら、サプライズで台北アクターが見送りしてくれました！午前中仕事を休んでタクシーで空港にきたと聞き、本当に感動と感謝です！私の初ガイドの緊張と落ち着かないところはいつの間にかばれてしまって、うち千歳アクトメンバーと石山委員長からサプライズを頂きました。嬉しすぎて泣いてしまいました。

今回の旅は本当に行ってよかったと思いました。台湾の良さ、台湾の文化を伝えられてよかったです。そしてなにかあっても私のことを最後まで信じてくれた、代表の石川さんをはじめ今回のメンバー全員に大感謝です。おかげさまでとてもいい勉強ができました！

お疲れ様でした。ありがとうございました。

『海外研修を終えて』

国際ロータリー第 2510 地区 千歳ローターアクトクラブ 広岡 敬子

今回台湾への海外研修に参加し、台湾のローターアクトの方々と交流をしたことで、より一層台湾への興味や魅力的な部分を発見することができました。ローターアクトの方々の日本語のうまさには度肝をぬかれましたが、おかげで色々な話を出来たことも確かです。私が一番よく話した女の子は日本のアイドルの大ファンだそうで、年越しコンサートなど年に数回は日本に来ているそうです。聴く音楽も日本のものばかり、携帯電話も日本語表記です。そこまで私たちの国を認め受け入れてくれている事にすごく嬉しい気持ちになりました。また台湾へ行く機会があれば私もあのレベルまでは達せないにしろ少しの挨拶くらいは覚えてみようと思いました。やはり外国人が自分の国のことを知っているというのは交流を深めるきっかけになると改めて感じました。

またアクター同士も仲がいい様子です。「やるからには自分も相手もみんな楽しいものをやったほうがいいでしょ」毎年行うアクトの周年記念式典では自分たちで脚本を考え、準備をして練習をする。そしてロータリアンの前で披露する。それぞれが役割分担し、週に1回程度の練習はみんなが参加しているようです。見せていただいたリーフレットもかなり手が凝っていて立派なものでした。ローターアクトの活動に対する気持ちの持ち方が明らかに違うなと感じてしまう場面でした。

はっきり言えば私たちはどこか義務的に、周りを伺いながらやっているところが少なからずあります。しかし、ローターアクトの活動は自分たちで積極的に考えて行動できる機会なのだと改めて感じました。ローターアクトは学校の同級生でも友達でも、ましてや会社の先輩後輩でもない仲間が集まるともユニークなチームです。そんな異様なチームがそれぞれの特技を活かしてひとつのものを作るとき、素晴らしいものが出来るのだろうなと思いました。まずは気持ちの持ち方、そしてチャンスを活用して形に表すことを実行していくべきだと、あと残り半年のアクター 期間を前に強く感じています。

訪れた時の台湾は稀に見る寒波が訪れた時でした。北海道のように暖房器具が整っている国ではありません。どこにいても寒かったです。すきま風の入る建物の中で台湾のお茶を飲みながら雪を見たことは一生忘れないだろう。貴重な体験をさせて頂いたことに感謝します。ありがとうございました。

『第 2510 地区 RAC 台湾海外研修』

国際ローター第 2510 地区 千歳ローターアクトクラブ 白木 郁江

2016 年 1 月 22 日（金曜日）新千歳空港で今回の研修へ行くメンバー 13 名と待ち合わせ。

お見送りには千歳セントラルの坂井さんが空港までお見送りに来てくださいました。

午後の便で台湾へ向かいました、今年度は千歳アクトクラブの会長は台湾出身、ワン・コニ会長がいますので色々楽しみでした。が、予定より 1 時間～1 時間ほど天候のせいで飛行機が遅れ、5 時間以上は飛行機に乗っていました。

1 日目、台湾に到着した時刻にはもう暗くなっていました。空港からはツアーのバスでホテルまで移動し、チェックインの後はもう遅いのでホテルから近い食堂で簡単に夕飯を済ませました。

食堂では台湾のローカルフードの魯肉飯（ルーローハン）を注文しました。肉そぼろをかけたご飯のようなもので、豚肉を刻んでショウガやニンニク、八角などの香辛料とともに甘辛く煮込んだ肉そぼろを煮汁とともにご飯にかけるご飯ものです。こってりとした豚の脂と甘辛い煮汁が染み込んだご飯の美味しさは日本でたとえたら、そぼろご飯か牛丼のつゆだくのような感じです。使う豚肉の部位はお店によって、バラ肉中心のコツチ系から、脂身の少ない部分も入れたあっさり系まで様々なようです。またご飯にかける煮汁も、たっぷりかかったつゆだくタイプからご飯に絡む程度のものでさまざまです。しかも値段がお得で日本円で 100 円前後からあるようです。

2 日目は朝食は軽くホテルのバイキングで済ませ、ワンさんの案内でお寺へ行きました。台湾で有名なお寺だそうで、パワースポットにもなっています。

あまり日本語の説明書きが無かったので、現地では何が何だかよく解らないまま、お寺の中を歩きました。

ので、ざっくりとウィキペディア調べを。

正式には艋舺龍山寺（もうこうりゅうざんじ、マンカーロンシャンサー）と称するが、地元でも単に龍山寺と呼ばれることが多い。

1738 年、福建省泉州から渡来した人々により、福建普江安海龍山寺の分霊として創建された。台北市内で最古の寺院であり、国家古蹟であると共に、台北 101、故宮博物院、中正紀念堂と並ぶ台北市の「四大外国人観光地」とされる。艋舺清水巖・大龍峒保安宮と並ぶ「台北の三大廟門」といわれる。

本尊は観世音菩薩であるが、現在では道教や儒教など様々な宗教と習合しており、孔子や関帝（関羽、三国志で知られる）、媽祖など、祀られている神は大小合わせて 100 以上に及ぶ。人々は様々な神が祀られた 7 つの香炉を順に廻りながら、それぞれの神に参拝する。

地震や火災によって何度か損傷し、また日本時代には学校として接収された時期もあったが、その度に再建・修理がなされてきた。また 1986 年、戒嚴令に基づく言論統制に反対する人々が決起した 519 綠色行動の舞台となった場所でもある。



↑ 出発前はみんな元気です



↑ 魯肉飯（ルーローハン）



↑ 台湾の元は数字を 4 倍かけたくらいが日本円くらいです。

昼食は楽しみにしていた小籠包を食べるために有名なお店に連れて行ってもらいました。予約が出来ないみたいなので待ち時間覚悟で来店しましたが、ワンさんのおかげで台湾人のスタッフに話しかけてもらい、45分待ちのはずが20分しないで入店できました。

凄い人気で人で溢れていました。店内も1階から3階まで満席!! 小籠包が美味しすぎます。

日本のごごみ? みたいにグルグルが可愛い。他にもいろいろと頼みましたが写真だけでいっぱいになるので数枚で(笑)



↑大きな長いお線香を渡されるので火をつけて焼香しています。

私は自分用にお守りを買いました。

↓台湾の山菜の炒め物です



昼食の後は台北東海アクトクラブの方達と待ち合わせ、淡水という街へ行きました。

台湾のベニスと言われている(らしい)淡水はMRT台北駅から約40分ほどで淡水駅に到着します。淡水駅からはお店が並んでいて小樽の運河沿いの雰囲気似ているなど感じました。レンガの道や坂道が多かったです。数十分ほど歩き、紅毛城という建物へ行きました。赤レンガ調の素敵な雰囲気のある建物です。建物内は無料で観ることができ、イギリス領事館時代のつくりが再現されています。紅毛城の歴史はもちろん、淡水の歴史まで解説されている資料がたくさんありますが説明は英語と中国語がほとんどで日本語が少なくて残念でした。



淡水駅で台湾アクトメンバーの皆さんと。そのままバスで移動しました・・・が、台湾のバスは日本と比べたら荒い運転でビックリしました。完全に止まらないままドアを開閉したり、ドアが開いたまま走り出したりと、かなりスリリング!!

夕方になり、淡水でのクルーザーの中で例会&夕食をし、台湾のアクトグループの例会の様子や発表を聞かせてもらいながらお土産の交換などをさせて頂きました。



↓台湾のお土産までいただきました。



↑橋のライトアップがとても綺麗で素敵でした。

↓スピーチも日本語で進めていただきました。



1 番、ビックリしたのが台湾のアクターが日本語が上手な方が何人も居た事です。日本人なのかな？と思うくらいの語学力で話してくれたので、沢山お話ができて嬉しかったです。

普段の例会を日本語でおこなっているクラブもあるそうで、すごく関心させられました。

数年前にも台湾へ海外研修をさせて頂いたことがあるそうで、また今回のように交流を持てたことを嬉しく感じました。また、当クラブのワンさんには今回の研修中、ハプニングがあったりしても現地の方と交渉してもらったりと何回も助けていただき感謝ばかりでした。(案外、英語が通じない時も多々...) ツアーガイドさん並みに活躍してもらい有り難うございました。&お疲れ様でした。今回の研修を通して刺激になった事などを今後の活動などにも役立てていけたらと改めて感じさせられました。最後になりましたが、引率して下さいましたロータリアン様方にもお礼申し上げます。



◆発行年月◆ 平成28年2月

◆発行元◆

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト海外研修参加者一同